

令和3年6月30日 発行

No. 122

発行・編集 習志野市教育委員会
☎ 047-451-1151 (代表)

習志野市ホームページ
学校教育だよりはこちら
から御覧いただけます

学校教育



習志野市ご当地キャラ
「ナラシンド」

Narashino Municipal
Board of Education

だより

令和3年度

体育祭

運動会



習志野市立第一中学校体育祭

ソーシャルディスタンスを講じて白熱しました!

新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が6月20日まで延長されたことを受けて、修学旅行の延期や運動会・体育祭を無観客にするなど、急遽の変更がありました。昨年度は手探り状態で新型コロナウイルス感染症防止策を考え、やむを得ず中止する行事が数多くありましたが、今年度は対策を十分に講じた上で各行事の開催予定を立てました。しかし、新たな措置が出されたことにより度重なる変更を余儀なくされました。その中で子どもたちに最高の思い出となるような運動会・体育祭を行うことができました。

《第 1 2 2 号》

テーマ 「習志野の教育」

《目 次》

令和3年度運動会・体育祭①	… 1
令和3年度運動会・体育祭②	… 2
小学校外国語授業	… 3
【速報】GIGAスクール推進プロジェクト	… 4
訪問相談・フレンドあいあい	… 5
放課後子供教室	… 6
特色ある教育活動紹介～第二中学校～	… 7
習志野高校ニュース・教育長コラム	… 8

コロナ対策を講じた運動会

大久保小運動会

5月15日(土) 第五中 5月22日(土) 実花小
5月29日(土) 大久保小 ※無観客で開催



2学年種目「ダンス」

制限がある中での練習でも、児童は、意欲的に取り組みダンスの演技を見事に完成させました。特に最後の運動会だった6年生のフラッグの演技は、心のこもった発表で参観された保護者からも大きな拍手をいただきました。

体育主任 久米田 侑希 先生



6学年種目「フラッグ」

先生方が準備してくださったおかげで開催できて、嬉しく思います。全学年、運動会のための練習を一生懸命行っていたので、本番ではきれいにできていたのだと思います。6年生は、演技だけでなく係として運動会の運営も頑張りました。

児童代表 武内 駿也 さん

実花小運動会

子ども達が運動会をとても待ち望んでいたのだと、改めて感じました。練習に励む姿や、本番での表情はとても生き生きとしていました。縮小した形ではありましたが、実花小全員の一体感を感じることができた貴重な行事となったと思います。 体育主任 中野 健太 先生

「仲間と心を一つに勝利をつかみとれ！」というスローガンのもと運動会を行えたことがとてもうれしかったです。小学校最後の運動会で、心を一つにして、そろったフラッグの演技をすることができ、最高の思い出をつくることができました。 実花小児童代表



伝統「ソーラン節」



白熱「応援合戦！」

第五中運動会



今年も学年別の運動会でしたが、昨年より種目を追加して行いました。学級で作戦を立て、勝利を目指して練習しました。当日は天候にも恵まれ、全力で競技に取り組む姿を見て、このような時期に実施できたことに感謝しています。 体育主任 頼成 佑紀子 先生

一致団結学級対抗「長縄跳び」

今年の運動会は昨年と比べると伸び伸びと、そしてハイレベルな戦いが繰り広げられ、五中の顔としてふさわしい姿が見せられたと思います。この学年で過ごして3年目になりますが、この学年でよかったと思えました。 実行委員長 3年 宇津木 響 さん



クライマックス「棒通し」

小学校外国語授業

習志野市の小学校外国語教育が

日々進化をとげていきます！



国立政策研究所・直山調査官によると、小学校の外国語教育における学級担任の役割はとて大いことが報告されています。児童個々の得意な部分を把握し、他教科の学習内容を生かした教科横断的な指導ができる学級担任の力は、児童の学習意欲の向上や深い学びにつながっているとのこと。また、笑顔で一生懸命外国語を使いながら授業をする姿は、児童にとって学びのモデルであり、安心して発話することにもつながっています。専科教員とのコラボも魅力ある取組です。

本市にも、日々、専門性を向上させている学級担任の先生方がたくさんいます。昨年度、要請訪問にて、元気でさわやかな授業展開が見られた実籾小学校の取り組みを御紹介いたします。

<目的・場面・状況を明確にしたコミュニケーション活動>

小学校3年生の形や色の学習において、「友達にカードをプレゼントする」活動です。英語を使うことが目的ではなく、「友達が喜んでくれるようなカードを作る」ために、学習した英語を使ってやり取りする姿は、まさに現実社会で英語を使う過程と同じです。また、イラストだけでどんなやり取りをするかを児童に提示した取り組みは、小学校では大きな意味を持ちます。英語を苦手と感じさせる大きな要因は文字指導です。慌てず慎重な導入を図る必要があります。



友達が喜んでくれるカードが作れるかな？

<低学年で英語を楽しむことを目的とした取り組み>

小学校1年生において、数の言い方に親しむ授業が行われました。大切にされていたのは、「教えることなく、気づきを拾う」ことでした。シンプルなゲームを通じて、身体を動かし、体験的に英語に親しむ指導は、どの児童にも楽しく取り組めて、自信につながるものでした。



TAプロジェクトの積極的活用

小学校学級担任の外国語授業に係る専門性アンケート3・4年	
分類	項目
授業構成力 (3段階)	1時間の授業(導入～言語活動・まとめ)を設計することができる。 視覚に訴えるものなど、児童の理解を支える教材が準備できる。 1単元の指導計画・評価計画を立てることができる。 デジタル教科書(視聴覚機器)を活用することができる。 ALTを適切に活用することができる。
指導技術力 (3段階)	挨拶や簡単な指示等が英語でできている(指導)。 ゲームやチャットを取り入れた楽しい活動ができている(指導)。 児童の活動を英語で褒めることができている(評価)。
高い専門性 (5段階)	ジェスチャーや簡単な英語を用いて、児童の理解を支えることができる(児童が「やってみたい・できるようにになりたい」と思う程度の設定)。 ALTとの会話を聞かせる等、活動前のデモンストレーションができている。 児童に、授業の目的・目標(あえて)を明確に示すことができる。 単元の終末に、児童が心を通わせる言語活動が設定できる。 (単に英語のやり取りだけでなく相手への配慮を伴う教科横断的な活動)

日本人ティーチングアドバイザーが各小学校を巡回して、先生方のニーズに合わせて指導・助言を図る、本市独自の取り組みも今年度が最後となります。アドバイザーからは、学級担任の先生方の力が伸びているポイントとして、次のようなことが報告されました。

- ① シンプルな英語を使って指示ができている
- ② 英語でたくさん褒めることができている
- ③ ALTとモデル会話ができる先生が増えている

この1年間で、ALTとのチームティーチングが自信をもってできている先生方が、各校に増えてきているとのこと。各校にセルフチェックシート(アンケート)が配付されています。自身の課題を明確にして、アドバイザーとのコミュニケーションにお役立てください。

<令和3年8月27日(金) 習志野市英語発表会が開催されます!! >

Check



昨年度は緊急事態宣言の発令を受けて中止となりましたが、今年度は感染防止対策を講じた上で、発表会を開催します。プラッツ習志野で開催する最初の発表会となります。夏季休業期間中ということもあり、英語科職員に限らず関係の先生方に御覧いただけるようになりました。

速報 GIGA スクール推進プロジェクト

初回ログインを終え、各校タブレット端末の積極的な活用が始まっています。また、5月10日(月)から「ICT支援員」による訪問が始まり、総合教育センター指導主事等も同行してタブレット端末を活用した授業の支援や環境整備等に取り組んでいます。今回は、鷺沼小学校のタブレット端末活用例を紹介します。

活用例① 1年生 タブレットでお絵かき & 明日の連絡をカメラで撮影



タブレット端末にインストールされているソフト「Word」を使ってお絵かきをしました。

担任の先生が、大型モニターと実物投影機を活用して、Wordの起動の仕方や操作の方法をゆっくりと丁寧に指導していました。また、ICT支援員がタブレット端末や実物投影機の操作をし、先生の説明をサポートしていました。

使い方の説明を聞くと、子どもたちは夢中になってお絵かきを始めました。付属のタッチペンで絵を描く子もいれば、自分の指で絵を描く子もいて、それぞれが描きやすい方法で生き生きと取り組んでいました。



【タッチペンを使って】



【指を使って】



ひらがなの学習が始まったばかりの1年生にとって、黒板に書かれた明日の連絡を連絡帳に書き写すことはなかなか大変です。そこで、タブレット端末にインストールされている「カメラ」を使い、先生と一緒に明日の連絡をパシャリ!

タブレット端末を家庭に持ち帰り、明日の持ち物や宿題等を保護者と一緒に確認することができます。

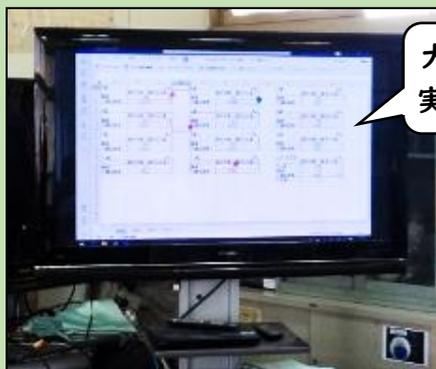
活用例② 6年生 理科の学習 実験結果をTeamsで共有

6年生理科「ものの燃え方」の学習で、大気中の酸素や二酸化炭素の濃度を測定し、グループごとに測定した結果を「Teams」で共有する授業実践が行われました。

担任の先生があらかじめ用意したExcelのワークシートにアクセスして「共同編集」を行いました。



各グループで
実験結果を入力



大型モニターで
実験結果を共有

「共同編集」とは、WordやExcelのワークシートに一斉にアクセスし、同時に書き込むことができる便利な機能です。

ワークシートにデータの平均値がすぐに表示されるような計算式を設定しておけば、実験結果が素早く表示され、結果の共有があっという間に行えます。



総合教育センター 訪問相談の取組

現在、習志野市総合教育センターの教育相談では、学校訪問や個別の家庭訪問といった「訪問相談」に積極的に取り組み、不登校児童生徒の解消を目指しています。

学校訪問相談

市内全小中学校を訪問し、各校の不登校児童生徒の状況把握を行っています。

家庭訪問相談

学校訪問相談で把握した状況を精査し、家庭訪問が可能な御家庭には、御家族の御依頼のもと、家庭訪問相談を実施しています。

「フレンドあいあい」を知っていますか？



「フレンドあいあい」とは何ですか？

「フレンドあいあい」は、いろいろな理由で学校に行くことができない子どもたちのために作られた習志野市の適応指導教室です。



その教室はどこにあるのですか？

東習志野小学校に隣接する東習志野こども園の敷地内に併設された「こどもセンター」の2階にあります。室内には、学習室、ブレイルーム&キッチン、和室、室外には広いバルコニーがあります。



ブレイルーム
及びキッチン



バルコニー(理科の学習にも活用)



学習室(昼食もここで食べます)



どんな活動をしているのですか？



各教科の学習や体育活動(週1回東部体育館で実施)、書道教室(月1回)、PC学習(月1回)、英語活動(学期1~2回)、小集団活動(会活動やレク等)を行います。また、校外学習や鹿野山自然体験教室を実施したり、必要に応じて中3生徒には面接練習等も行ったりしています。今年度は教室用のWi-Fiルータを用意し、子どもたちに配られたPCを活用できるような学習を行います。



学習の様子



家庭科の作品製作



書道教室で書初め練習



東部体育館での体育活動



どんなことを目指して子どもたちの指導・支援を行っていますか？

社会的自立や学校生活への復帰ができるように、児童生徒の自主性や主体性を尊重しながら興味・関心・能力に応じて弾力的な指導・支援を行っています。



鹿野山自然体験教室



子どもたちを指導・支援する上で大切なことは何ですか？



自分を変えようと自ら一歩踏み出した子どもたちの居場所が「フレンドあいあい」です。その子どもたちが更に前に進み社会的自立ができるようになるためには、保護者や学校と連携を図りながら適切に指導・支援していくことが必要です。

ぜひ、市内小中学校の先生方には「フレンドあいあい」の活動を知っていただくとともに、実際の教室を見に来ていただくと嬉しく思います。

放課後子供教室開設

★ 東習志野小学校放課後子供教室 ★



消毒もバッチリ



みんなでじゃんけん大会!



<教室の様子>

子どもたちの声 「今日も学校楽しかった!」そんな言葉に癒されます!

- ・毎月行う「カレンダーづくり」がとても楽しいです!
- ・学習室や図書室、体育館など、場所によって遊ぶものが変わって楽しいです!
- ・放課後に他の学年の子と勉強したり、遊んだりするのが楽しく、嬉しいです!



～ 放課後子供教室コーディネーター 野口さんより～

相手の気持ちになって考えられる思いやりのある子が多いです。そんな一人ひとりの素敵な長所をこれからも見つけていき、伸ばしていきけるよう見守ってまいります!

★ 秋津小学校放課後子供教室 ★



大忙しの受付



一生懸命宿題を頑張っています!



<風船ゲームの様子>

子どもたちの声 教室にはいつも子供たちの笑顔がいっぱいです!!

- ・ぬり絵大会やアイロンビーズなどイベントがたくさんあって楽しいです!
- ・自分たちでお勉強ができるところがとてもいいです!
- ・ほかの学年のお友達がたくさんできてうれしいです!



～ 放課後子供教室コーディネーター 高原さんより～

子供教室を通して、子どもたち自身で遊びやルールを考えられるように様々な活動をしています。そして、子どもだけでなく、子どもの持ち帰った作品を家族で楽しんだり、企画したりする職員もワクワクできるような教室作りをしています!



習志野市立第二中学校

校長：内山 晃男 教頭：渡邊 邦彦

学校教育目標 「自ら学ぶ 人間性豊かでたくましい生徒の育成」

あしたの「ハ」=モニターが響くまち 習志野市 **リレー連載**

私たちのまち 習志野の学校

No. 4

本校は全校生徒667名、教職員52名という中規模校です。明るい挨拶をしてくれる生徒が多く、部活動も盛んです。教職員も若手とベテランがバランスよく配置され、教職員の仲も大変良く、とても明るい雰囲気のある学校です。昨年はお年寄りを助けたことによる市長賞をいただいた生徒や、駅前で倒れた人のためにAEDを探しに走り回るなど、率先して救助活動を行い、人の役に立つことを積極的に行うことのできる生徒が多くいます。



令和3年3月15日、第二中学校にて市長から表彰を受けました！

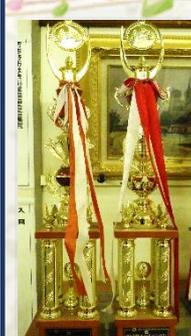
昭和58年 第5回全国中学校軟式野球大会 準優勝
平成16年 第26回全国中学校軟式野球大会 優勝



野球部は、昭和58年全国大会準優勝を果たし、その後も新人戦等で千葉県大会において優勝しました。平成15年度には新人戦千葉県大会で優勝し関東大会出場、8月に念願の全国中学校軟式野球大会で優勝することができました。

平成16年度 全国中学校軟式野球大会 **全国制覇**

吹奏楽部 全日本マーチングコンテスト



全受賞
吹奏楽部は、平成十二年に初めて全日本マーチングコンテストに出場し、平成二十七年から四年連続で金賞を受賞しました！

新型コロナウイルス感染防止のために様々な行事が中止や縮小されたことから、式は豪華に晴れやかに行いたいと考えました。令和2年度の卒業式から写真撮影スポットの設置や茶華道部が作成した作品を随所に飾る取り組みをしています。



写真スポット

茶華道部の作品



タブレット導入に向けて通学靴を選択制にしました！

ユニバーサルデザインを重視した教室環境



生徒が落ち着いて学習に取り組めるように一昨年度からユニバーサルデザインを重視した教室環境を目指し取り組んでいます。

教室環境のためのしおりを作成し、全クラスが前面には掲示物を一切貼らず、サイドには同じ掲示物を同じ場所に貼ることを実践しています。

また、黒板の両サイドにある連絡黒板にはカーテンを付け、授業中は閉めることを実践し、集中力が高められるようにしています。全授業でICT機器を有効活用した授業を行い、生徒の興味関心・意欲の向上を図っています。

ボクシング 世界ユース大会 優勝!

雑草の如く逞しく

～習志野高校ニュース～

60kg級チャンピオン 令和2年度卒業 堤 麗斗 選手



新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、昨年11月から延期されていた AIBA 世界ユース選手権大会が、令和3年4月10日(土)～24日(土)にポーランドで開催され、令和2年度に習志野高校を卒業した堤麗斗選手(現東洋大学)が男子60kg級で見事優勝し、世界チャンピオンに輝きました。堤選手は帰国後2週間の隔離生活を終えた翌日5月13日(木)に表敬訪問され、市長、議長、教育長に優勝の報告をしました。さらに4月29日(木)にベストボクサー(大会最優秀選手)に選ばれました!!



5月13日(木)表敬訪問 於:市庁舎



※写真撮影時のみ、マスクを外しています。

～好きですふるさと習志野～ 教育長コラム

コロナ禍が続く中、私にとってはプロ野球のテレビ観戦が、ささやかな楽しみの一つになっています。ある時、ベンチの中で選手が小さなノートを出して何かを書き込んでいる姿が映し出されました。その様子を、かつての名選手は、「私も現役時代は、よくノートに対戦のことをメモしておきました。次につなげたいからです。結果が出なければ使ってもらえない世界です。だから選手も必死です。」と解説をされていました。

昨今、競技によってはタブレット PC を活用することもあるようですが、自分で書く、記録をとることはスポーツのみならず、様々な場面で有効です。また、アンガーマネージメントの考え方では、自分の怒りを記録にとる(「アンガー・ログ」)ことで、「怒り」を冷静な判断に変えられるそうです。(安藤俊介氏「アンガーマネージメント入門」より)

教育においては、板書とノートの関係に始まり、週案と指導記録に至るまで、書くこと、記録をとることの重要性、有効性は言うまでもありません。また、特別支援教育においても、「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を活用して、計画すること、記録することは、よりよい指導や支援へとつなげていくために重要となります。ただ、日常の教育活動(仕事)に忙殺され、記録が後回しになってしまう現実も見逃すことはできません。必要な時に記録できる環境を用意することが教育者の務めであり、責任でもあります。

(教育長 小熊 隆)